



Tech manual

GeoMill ARUM 5X-500L - キャリブレーション実施の目安

キャリブレーション実施前の準備事項

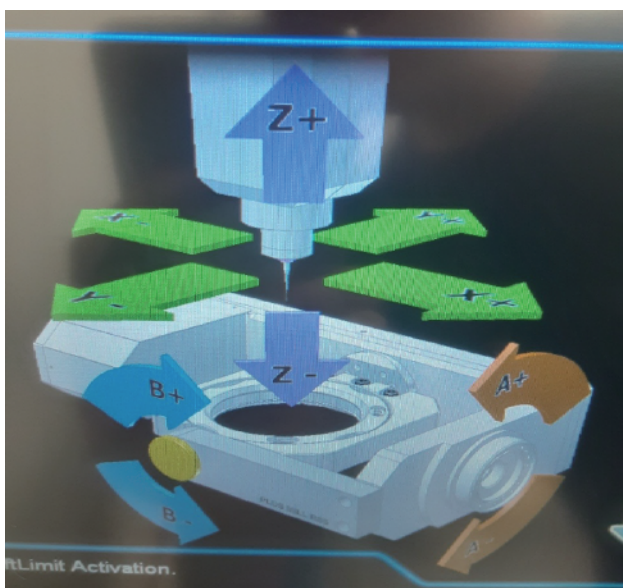
- ① コレットの掃除（傷が入ってるかを確認）
- ② キャリブレーション DISK の表面掃除
- ③ キャリブレーション用ツール確認 }（キャリブレーション結果に影響があるため）
- ④ CUBE キャリブレーション用 NC データ

キャリブレーション実施期間

補綴物に問題が生じた場合に行うのがキャリブレーションであり、補綴物に問題がなければ実施しないことを推奨する（問題が無いのにキャリブレーションを行い、補綴物に影響出る可能性もある）



*① 全ての軸 (ALL) をキャリブレーションしなくても良い
各軸の問題が出た軸のみ選択し、キャリブレーションすることを推奨する



*各軸がズレが生じた例

B 軸：DISK を切削した際に **3 時**または **9 時**方向のクラウン咬合面に穴が開いた場合

X 軸：クラウンコンタクトの変化、クラウン表面に **X+**、**-**方向に横線が出た場合

A 軸：DISK を切削した際に **12 時**または **6 時**方向のクラウン咬合面に穴が開いた場合

Y 軸：クラウンコンタクトの変化、クラウン表面たに **Y+**、**-**方向に横線が出た場合

Z 軸：クラウンのバイトが**高く**または**低く**なった場合